

令和7年度 学校評価結果の考察と今後の対応について

時和特別支援学校西彼杵分校

1 評価結果について

	保護者	教職員
1 安全で安心できる学校	3.6	3.5
2 学ぶことが楽しくなる学校	3.6	3.5
3 お互いを認め合う学校	3.6	3.6
4 一人一人の社会参加を支える学校	3.6	3.5
総合評価	3.6	3.5

2 各項目における評価の詳細について

(1) 安全で安心できる学校

保護者は、「3.6」、教職員は、「3.5」という結果で、概ね高評価を得られた。

保護者においては、番号②で、2名が評価「2」を付けている。日々の教育活動の取組を保護者へ周知する方法や頻度を工夫することで改善が図られるものと考えられるため、次年度は、効率的で、効果的な保護者への情報発信を行っていききたい。

教職員においては、番号⑤で、2名が評価「2」を付けている。施設面については、小中学部棟と高等部棟で多少の違いがあるものの、児童生徒の安全面や教職員にとって働きやすい職場環境づくりを推進いくためにも更なる改善を図っていききたい。

(2) 学ぶことが楽しくなる学校

保護者は、「3.6」、教職員は、「3.5」という結果で、概ね高評価を得られた。

保護者、教職員ともに、評価「2」がなかったことから、次年度以降も、現在の取組を継続していききたい。

(3) お互いを認め合う学校

保護者は、「3.6」、教職員は、「3.6」という結果で、概ね高評価を得られた。

保護者、教職員ともに、番号⑮で、1名ずつ評価「2」を付けている。教育活動の情報発信については、毎月の学校だよりの発行やホームページの更新などに取り組んでいるものの、教職員の自由記述に挙げられているように、ホームページの更なる充実に向けて改善していく必要があると考えられる。

(4) 一人一人の社会参加を支える学校

保護者は、「3.6」、教職員は、「3.5」という結果で、概ね高評価を得られた。

保護者においては、番号⑱と㉔で評価「2」を付けている方がいた。どちらも地域とのつながりを推進していくことで改善が図られるものであることから、次年度は地域の社会資源を教育活動に生かせるような取組を図っていききたい。

教職員においては、番号⑲で、2名が評価「2」を付けている。進路に関する情報提供は、学部間で多少の差があると考えられる。出口教育の高等部の取組を分校全体で共有できるような取組を推進していく必要があると考えられる。

(5) 自由記述（一部抜粋）

- ・今年度は授業参観の機会が少なく、学級懇談等も計画的に実施できなかった。保護者との連携には努めているが、次年度は通常授業の参観日も必要ではないかと考えている。
- ・ホームページへの発信が滞ってしまった。
- ・まだ、できたばかりの学校なので、これからの課題が出て来るので、それに対応していくことを、

学校も保護者も意見をぶつけて話し合いをして行くことが大切だと思う。

- ・どこの小学校、中学校より、体育祭も、文化祭も面白かったと思います。先生方のアイデア、努力感じられました。ありがとうございます。

3 検討した改善策について

上記結果の課題を受けて、各部や各分掌部等で次の5点について、次年度に向けた改善策を協議した。

(1) 通常授業の授業参観の設定について

- 小中学部は、次年度から2学期と3学期に、通常授業の授業参観日を設定することとする。なお、小中学部は、年間で3回、授業参観を実施予定である。また、授業参観だけでなく学年・学部懇談も同日に実施し、学校と保護者が対話をする場も設定する予定である。
- 高等部は、1学期に授業参観を設定している。2学期以降は体育祭、文化祭、現場実習関係、分校祭等で保護者の方に来校していただく機会が多いため、通常の授業参観は設定せず、各行事や個人懇談の際に保護者と対話していく。なお、保護者から個別に授業参観の希望がある場合はいつでも受け入れられるようにする。

(2) 学校と保護者が対話できる場の設定について

- 今年度実施した「PTA 座談会」に、学校側も参加するようにし、その中で学校への要望やご意見を聴取する機会を設けるなども工夫を行う。

(3) ホームページの更なる充実について

- ホームページ更新予定表を作成し、各学部の担当で掲載するようにする。
- 各学部の学習の様子は、月1回以上の掲載を目標に各学部で担当者や分担を検討する。また、掲載の有無について、各学部の担当者が確認するようにする。
- 進路だよりなど紙面で発行されるお便りの掲載も行うようにする。

(4) 児童生徒にとって安全で安心な環境づくり

- どちらの学部棟も梅雨時期の湿気が課題となっている。児童生徒の健康面を考え、安全に学校生活を過ごせるように、事務室と協働して計画的に除湿器や扇風機などを購入していく。

(5) 地域の社会資源を生かした教育活動の推進

- 今年度、校内研究において、「社会に開かれた教育課程を目指した教育実践 ～西彼杵分校の強みと社会とのつながりを重視した学校の特色づくり～」というテーマで、全職員で研さんを重ねてきた。その研究成果を次年度は、授業の中で実践していくようにしている。

4 総括

総合評価は、保護者「3.6」、教職員「3.5」という結果となった。保護者、教職員ともに総合評価が3.5ポイント以上となり、概ね高い評価を得ることができた。さらに、自由記述においても、建設的で前向きな意見が多く挙げられ、今年度の取組への理解を得ることができた。

また、得られた意見等から、授業参観の機会を増やすことや学校と保護者が対話できる場の設定、ホームページの充実、安全安心な環境づくり、地域とつながった教育活動などについて、各部や各分掌部で協議し、具体的な改善策を考えることができた。

次年度以降も、保護者や地域、関係者からの意見等を十分に反映させながら、かつ教職員の業務改善も念頭に置いて、学びやすく、働きやすい学校運営を進めていけるよう、取り組んでいきたい。